LOGISTICS NIPPON
物流ニッポン
2009年(平成21年)
3|12(木)
発行/月曜日・木曜日　第3207号
購読料/半か年32,130円(月額5,355円、税込)
©物流ニッポン新聞社 2009 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

冷凍・冷蔵

倉庫新設一括サポート

総イーソーコ研 中小規模を対象

【石井麻里】イーソーコ総合研究所(河田栄司社長、東京都港区)では、冷凍・冷蔵倉庫を対象としたワンストップソリューション(問題解決策)「イー・コールドパッケージ」を開発した。中小規模の冷凍・冷蔵倉庫を対象に、土地の確保、資金調達から建設までトータルにカバーし、新設または既存常温倉庫の改修をサポートしていく。

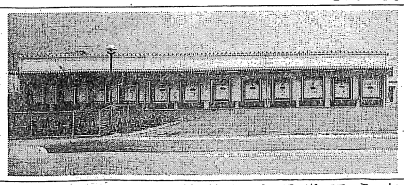
遊休地の有効活用、サードパーティー・ロジスティクス(3PL)事業者の収益向上策として、冷凍・冷蔵倉庫の建設が注目されている。ただ、専門ノウハウが必要なため、中小規模だとそれほど活発な建設が進んでいない。事業性・優位性の観点から、イーソーコ総研では、ソリューションの対象に冷凍・冷蔵倉庫を追加した。

具体的には、土地の確保・資金調達の支援から、建築・設計・施工、物流設備(マテハン、在庫管理システムなど)の導入、アフターケアまで冷凍・冷蔵倉庫建設に関わるすべての作業を一括で提供。マテハン(冷凍)システムメーカーとの連携による一括責任設計施工で、高機能、高品質、短工期を実現する。

冷凍・冷蔵倉庫設計・施工に当たっては、断熱性、凍上、結露、カビなど様々な問題に配慮しなければならない。中小規模の冷凍・冷蔵倉庫建築では、きちんとした専門家が付かず、竣工後にトラブルが発生するケースもある。イー・コールドパッケージでは、専門家集団が携わるため、長く安心して利用できる倉庫の提供が可能。

環境対策、省エネ、食の安全・安心など最新のニーズを考慮。ノンフロンと省エネの両方を実現した新型冷凍装置、断熱性に優れたパネルを活用したパネル工法、冷凍・冷蔵倉庫内での保管・仕分け・ピッキング・ハンドリングに適した物流機器をソリューションとして提案している。

なお、大消費地に近い中小規模の冷凍・冷蔵倉庫をモデルケースに、収支シミュレーションも行える。これまでは内陸のスルーセンター型冷凍・冷蔵倉庫などで実績があるが、今後は「テナントニーズがあれば、ファンドの施設の冷凍・冷蔵倉庫仕様変更も技術的には可能性があり、相談に応じていきたい」としている。



土地の確保から建設までカバー――提供写真